

## 事業名：体育施設開放事業（学校プール開放）

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

|      |                        |      |   |              |     |      |      |     |  |
|------|------------------------|------|---|--------------|-----|------|------|-----|--|
| 政策   | 05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実 |      |   |              |     |      |      |     |  |
| 施策   | 05 市民スポーツ活動の充実         |      |   |              |     |      |      |     |  |
| 基本事業 | 01 スポーツ・レクリエーション施設の充実  |      |   |              |     |      |      |     |  |
| 開始年度 | —                      | 終了年度 | — | 実施計画<br>事業認定 | 非対象 | 会計区分 | 一般会計 | 補助金 |  |

## 事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者

手段（事務事業の内容、やり方）

学校プールを夏季休業期間中、業者委託により開放・管理する。プールの水質管理のほか、開放校毎に開放時間中2名のプール監視員を配置し、原則、日曜と水曜を休場日としている。午前10時から正午までと午後1時から午後3時30分まで開放している。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校プールを夏季休業期間中開放し、水泳に親しむ機会を提供することで、小中学生の体力・健康増進を図る。また、水泳を通じて子供と保護者のふれあいも深めるねらいがある。

## 指標・事業費の推移

| 区分        |                  | 単位 | 23年度実績 | 24年度実績 | 25年度実績 | 26年度当初 |
|-----------|------------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 対象指標1     | 開放校区の児童・生徒（中学生）数 | 人  | 9,938  | 9,631  | 9,377  | 9,212  |
| 対象指標2     |                  |    |        |        |        |        |
| 活動指標1     | 開放校数             | 校  | 17     | 17     | 16     | 17     |
| 活動指標2     | 開放日数             | 日  | 14     | 14     | 14     | 14     |
| 成果指標1     | 利用者数             | 人  | 11,064 | 11,438 | 10,231 | 10,000 |
| 成果指標2     |                  |    |        |        |        |        |
| 事業費(A)    |                  | 千円 | 4,219  | 3,805  | 3,553  | 3,756  |
| 正職員人件費(B) |                  | 千円 | 1,204  | 1,202  | 1,172  | 1,565  |
| 総事業費(A+B) |                  | 千円 | 5,423  | 5,007  | 4,725  | 5,321  |

|      | 事業内容（主なもの）  | 費用内訳（主なもの）      |
|------|---|-----------------|
| 25年度 | 夏季休業期間中に小学校17校（H25年度は大麻小が工事のため休止し、16校）のプールを開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者に開放した。 | ・監視員等報酬 3,083千円 |

|             |
|-------------|
| 事業を取り巻く環境変化 |
| 事業開始背景      |
|             |
| 事業を取り巻く環境変化 |
|             |

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

|        |          |   |
|--------|----------|---|
| 妥当である  | 理由<br>根拠 | 身近にある学校プールを開放することで、手軽に水に親しむことができ、子供の水に対する恐怖心をなくすとともに、健康づくりにもつながることから、妥当である。 |
| 妥当性が低い |          |   |

(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

|         |          |   |
|---------|----------|---|
| 貢献度大きい  | 理由<br>根拠 | 子供のころから水に親しむことで、水に対する恐怖心をなくし、水泳への関心が高まるとともに、水を利用した運動で、利用者の健康の維持・増進が図られることから、貢献している。 |
| 貢献度ふつう  |          |   |
| 貢献度小さい  |          |   |
| 基礎的事務事業 |          |   |

(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

|                |          |                                    |
|----------------|----------|------------------------------------|
| 上がっている         | 理由<br>根拠 | 天候によって利用者数は増減するが、毎年一定の利用者数を維持している。 |
| どちらかといえば上がっている |          |                                    |
| 上がらない          |          |                                    |

(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？

|             |          |   |
|-------------|----------|---|
| 成果向上余地 大    | 理由<br>根拠 | 当事業の周知は、広報や市ホームページで市民に知らせるほか、開放校の学校だよりなどで児童に知らせており、天候が安定していれば利用者の増が期待できる。 |
| 成果向上余地 中    |          |   |
| 成果向上余地 小・なし |          |   |

(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する方法はありますか？

|    |          |  |
|----|----------|--|
| ある | 理由<br>根拠 | プールは、安全管理や水質管理など、減らしたり効率化できない部分があることから削減は難しく、利用者の安全性の確保のため、逆にコストをかける必要がある。 |
| なし |          |  |